本記事の著作権は日刊工業新聞社に帰属しており、日刊工業新聞社の承認の上で本ウェブサイトへ掲載しております

絶好調の「ファインマグ」シナジー効果で可能性広がる

住友重機械ファインテック

住友重機械ファインテック（以下FTEC）は住友重機械工業の100㌫出資の関係会社。精密機械（平面研削盤）とクーラントシステムの各事業を2本柱にして、製造・販売・アフターサービスを行っている。この4月にそのクーラントシステム事業のメイン商品であるマグネットセパレーター「ファインマグ」が累計出荷台数3万台を達成し、顧客層を拡大している。FTECの松木信雄社長と同事業を担当する宮川和彦取締役にその理由と同事業の今後の展開などについてお話を伺った。

売り上げが加速

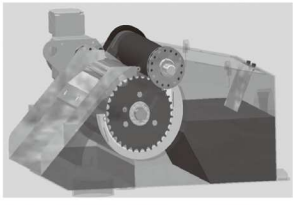
―主力商品「ファインマグ」の勢いが止まらないようですね。

松木「このマグネットセパレーターファインマグシリーズは主に鉄などの磁性体を研削されるお客さまにお使いいただいているのですが、新規設備導入時や既存設備でマグネットセパレーターを更新する時にファインマグとご指定いただくことが増えています。1台使っていただいた後にリピートオーダーをいただくことも多く、他社製品をお使いのお客さまからもご指定をいただいたりと広がりを見せ、大変心強く感じています。2002年に発売してから累計出荷台数が1万台より2万台、そして3万台を達成する速度がますます加速しており、私たちもどこまでお客さまのご期待にお応えできるか挑戦しているところです」

排出された切くずにファインマグのコンセプトが凝縮されている

―国内の研削盤市場が年間5000―6000台とされる中で、なぜそこまでの反響が得られているのでしょうか。

宮川「マグネットセパレーターは磁力を使って切くずを回収するのですが、ファインマグはその回収能力が高いことと、それを絞りローラーの水切り機能で研削切くずの含水率を30㌫台まで落とすことができました。回収能力や水切り性能は業界トップクラスです。水切りが不十分だと回収物が産業廃棄物にしかならなかったものが、含水率がここまで低いと手に取った時にパサパサした感じで、有価物として再利用できるようになります。性能も長期間維持発揮されることが好評につながっているのだと思います。価格も従来並みに抑えるのに、VE手法を用いて材料から製造方法に至るまで随分見直しを重ねました」



ファインマグはドラムと絞りローラーを確実に駆動する構造により高性能を長期間発揮する

宮川「ファインマグは用途に合わせて機種をラインアップしており、例えば15年にほぼ1㌧の磁力を持つ超高磁力型の『UKタイプ』を発売しました。UKタイプでは従来の高磁力型でも回収が困難だった超硬切くずなどの回収ができる画期的なマグネットセパレーターで、業界で追随する類似商品は無いと認識しています。その結果、今までと異なる業界の顧客開拓にもつながっています」

機能性向上で存在感を発揮

―グッドデザイン賞を受賞されているのですね。

宮川「02年の発売当時にいただきました。工場の中で工作機械と一緒に使うものですから武骨な形に陥りがちだったのですが、思い切って曲線を使ったデザインを採用してこれからの環境に配慮した工場に合うものを目指しました。カバーの色も美化をイメージした独特の緑色を採用しました。お客さまによっては指定の設備色を要望いただくこともあるのですが、ファインマグはこの色のままでご理解いただくようにしています」

松木「マグネットセパレーターはかつて研削盤に付属してさえいれば良いという認識もありましたが、近年はお客さまが付帯装置としての重要性を認識されておられます。そのうえで、マグネットセパレーターならファインマグと指定いただけることがうれしいですね」

3年後売上高を1・5倍に

―今後の見込みをお聞かせください。

松木「20年3月期を最終年度にする中期経営計画で、このファインマグを軸としたクーラントシステム事業の売上高を現在の1・5倍に拡大していく計画です。このため今後もシリーズのラインアップ強化を図り、新タイプの製品を市場に投入していく予定です」

宮川「これからは国内市場だけでなく、海外市場にも力を入れます。中国に加えて、欧米に進出する日系メーカーへも積極的に売り込んでいくつもりです。従来の主要顧客である自動車関連メーカーはもちろんですが、その他の業界へも市場開拓の余地は大いにあると考えています」

―この5月に研削盤用ファインバブル発生装置「FINE GO」も発売されていますね。

松木「FINE GOでは直径0・1㍉以下の極微細な泡を湿式研削で使用するクーラントへ混合させることで、クーラント液の消臭効果と長寿命化、研削効率の向上やクーラントタンク及び配管内の洗浄効果などさまざまな効果が期待できます。これらを合わせたシステム提案を行うことで、シナジー効果も見込めると考えています」

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

マグネットセパレーターは、クーラント液中から鉄系の磁性体切くずをマグネットによって連続的に回収する装置。ファインマグはマグネットセパレーターに求められる性能を高い次元で向上させただけでなく、性能の長期持続性を実現できたことで、新たな付加価値を付けることに成功した例と言えそうだ。今後の市場開拓の成果も注目される。

住友重機械ファインテック
写真左から 宮川 和彦 取締役、松木 信雄 社長

住友重機械ファインテック株式会社
http://www.shi-ftec.co.jp/ http://www.finemag.jp/
■本社・工場 〒713-8501
岡山県倉敷市玉島乙島8230番地
TEL.086-525-6281 FAX.086-525-6137